

[大阪市立大学経済学研究科公開セミナー/ 経済学会定例・特別研究会]

**カレント・イシュー・セミナー**

## 『アメリカ発グローバル金融危機をどう見るか?』

主催: 大阪市立大学大学院経済学研究科、経済学会

日時: 2009年1月21日(水) 2:00 p.m.~5:00 p.m.

場所: 大阪市立大学学術情報総合センター 1階文化交流室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138/ JR 阪和線杉本町駅下車

● **開会挨拶** 海老塚 明 大阪市立大学大学院経済学研究科長

● **パネル・ディスカッション**

(スピーカー)

村瀬 哲司 龍谷大学経済学部教授(元東京銀行・東京三菱銀行調査部長)

中本 悟 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授

山下 英次 大阪市立大学大学院経済学研究科教授

(コーディネーター)

惣宇利 紀男 大阪市立大学大学院経済学研究科特任教授、(財)関西消費者協会理事長

(開催趣旨)

1929年の大恐慌以来最大の危機ともいわれる今次グローバル金融危機をどのようにとられるべきか、またその世界経済に対する中長期影響をどのように見るか、経済学の真価が問われるこの課題に、様々な角度からアプローチします。

● 本件に関する問い合わせは、大阪市立大学大学院経済学研究科の山下 (bellogos@econ.osaka-cu.ac.jp) までお願いいたします。

## 出演者経歴

### 村瀬 哲司 (むらせ てつじ)

1945 年生まれ

龍谷大学 経済学部教授、経済学博士 (京都大学)

京都大学名誉教授

1968 年 一橋大学商学部卒業

1996 年 東京銀行調査部長、東京三菱銀行調査部長

1999 年 京都大学 留学生センター (現国際交流センター) 教授

2008 年 京都大学名誉教授、龍谷大学経済学部教授

### 著書

「アジア安定通貨圏——ユーロに学ぶ円の役割」勁草書房、2000 年

「東アジアの通貨・金融協力」勁草書房、2007 年

“A Zone of Asian Monetary Stability” Asia Pacific Press, 2002 など

### 翻訳

「マルクの幻想——ドイツ連銀の栄光と苦悩」(原題 “Gutes Geld & schlechte Politik” von Dieter Balkhausen, Econ Verlag) 日本経済新聞社、1993 年

「ユーロへの挑戦」監訳 (原題 “Herausforderung Euro” von Hans Tietmeyer, Hanser) 京都大学学術出版会、2007 年

### 中本 悟

1955 年生まれ。一橋大学大学院経済学研究科修了、京都大学博士 (経済学)。静岡大人文学部助教授、大阪市立大学経済研究所教授 (アメリカ経済研究を担当) を経て現職。この間、カリフォルニア大学バークレー校 (1991 年)、シンガポール東南アジア研究所 (1994 年) トロント大学国際問題研究所 (1995 年)、カリフォルニア大学サンディエゴ校 (1998 年) などにおいて在外研究。

専門領域の一つは現代アメリカ経済研究であり、とくに最近はアメリカのサービス経済化およびサービス貿易の国際比較研究に取り組んでいる。もう一つの専門はグローバリゼーション研究であり、グローバリゼーションのインパクトを分析し、グローバル・ガバナンスの課題を追究している。

著書には『現代アメリカの通商政策』(有斐閣、1999 年) のほか、中本悟編 『アメリカン・グローバリズム』日本経済評論社、2007 年など多数がある。

## 山下英次 (やました・えいじ)

1970年 慶応義塾大学経済学部卒業

1975-88年 (株)東京銀行 調査部、国際投資部、海外部などに勤務 (最終役職: 海外部カントリー・リスク分析チーム主査)

1988年 大阪市立大学経済学部 助教授

1988, 89, 91年度 神戸大学経営学部非常勤講師

1994-1995年 野村総合研究所ヨーロッパ (イギリス・ロンドン) 客員フェロー

2002年10月 上海・復旦大学経済学院における在外研究(2週間)

2003年9月 ドイツ・ハンブルク大学国際問題研究所(IIA) 客員教授(1ヵ月間)

2005年度～2007年度 東京国際大学 (TIU) 大学院経済学研究科英語コース非常勤講師

2008年3-9月 欧州大学研究院 (EUI、於イタリア・フィレンツェ) ロベール・シューマン高等研究所 (RSCAS) ゲスト・フェロー

現在 : 大阪市立大学大学院経済学研究科 教授 (国際通貨論)・経済学博士

: (財) 日本国際フォーラム (東京・溜池山王) 政策委員

: (財) 国際通貨研究所 (東京・日本橋) 客員研究員

: 東アジア共同体評議会 (CEAC、会長=中曽根康弘) 有識者議員

: 「六甲会議」(主催: 日本 IBM) メンバー

著書: 『ヨーロッパ通貨統合—その成り立ちとアジアへのレッスン—』、勁草書房、2002年7月、ほか

## 惣宇利 紀男 (そうり のりお)

学 歴 1972年3月 大阪市立大学大学院経済学研究科博士課程修了

学 位 経済学博士

専 攻 公共経済学

職 歴 1977年4月 大阪市立大学経済学部助教授

1989年4月 同教授

1999年4月～2000年3月 同学部長

2000年4月～2002年3月 大阪市立大学副学長

2001年4月 大阪市立大学大学院 経済学研究科教授

2007年3月 同退任(名誉教授)

2008年4月 大阪市立大学大学院経済学研究科特任教授 現在に至る

学 会 1) 日本経済学会

2) 日本計画行政学会

3) 国際公共経済学会

著 書 1) 『暮らしと物価 大阪百話』(財)大阪都市協会、平成4年5月

2) 『21世紀の経済政策』日本評論社、平成11年8月

3) 『公共部門の経済学』阿吽社、平成15年8月 他

留 学 1) アメリカ中西部(ロータリークラブ派遣研修生)(1976年)

客員研究員 1) 米国 バージニア工科大学(1982年)

2) 米国 サンフランシスコ州立大学(1982~3年)

3) 中国 上海财经大学(1990年)

4) 英国 ロンドン大学LSE(2003年)

講 師 1) 大阪市立大学大学院 創造都市研究科(公共経済学)

2) 大阪経済大学大学院 経済学研究科(公共経済学) 他

海外視察 1) 大阪市生鮮食品流通視察団団長(1991年夏)

北欧・ヨーロッパ(ドイツ、デンマーク、ノルウェー各都市)

2) 大阪市生鮮食料品流通視察団団長(1993年秋)

北米(アメリカ、カナダ各都市) 他

## 社会活動

### 1. 「消費者・情報関係」

1) 「大阪府消費者保護審議会」会長

2) 「奈良県消費生活審議会」会長

3) 「大阪府食の安全・安心推進委員会」委員 他

### 2. 「環境関係」

1) 環境省 3Rマイスター

2) 「NPO法人ごみゼロネット大阪」代表理事 他

### 3. 「卸売市場関係」

1) 「大阪市中心卸売市場本場・東部運営協議会」会長

2) 「大阪市中心卸売市場南港市場運営協議会」会長 他

### 4. 「行政評価関係」

1) 「大阪市特定団体(WTC/ATC)再検討委員会」委員長

2) 「大阪市行政評価委員会」委員

3) 大阪府市統合水道事業検証委員会座長 他